

CO・OP REPORT

～生協の広報誌 全国の生協の今をお知らせします～

2025 SUMMER&AUTUMN VOI.166

日本生活協同組合連合会

総会代議員定数656名に対し653名（実出席386名、委任出席0名、書面出席267名）が出席し、2024年度事業報告・決算、2025年度事業計画・予算などの6議案全てが賛成多数で可決されました。

日本生協連代表理事会長 土屋敏夫から、開会にあたり被爆・戦後80年にあたる今年2025年の総会における特別アピールとして、平和な社会への思いを込め「2025年 私たちの平和宣言」を提案していることを述べました。



<議案内容>

- 第1号議案：全国生協の2024年度まとめと2025年度活動方針決定の件
- 第2号議案：2024年度事業報告書および決算関係書類承認の件
- 第3号議案：2025年度事業計画および予算決定の件
- 第4号議案：役員（理事39名、監事6名）選任の件
- 第5号議案：役員報酬決定の件
- 第6号議案：会員規約の一部変更の件

組合員数3,080万人、世帯加入率39.4%

【全国】

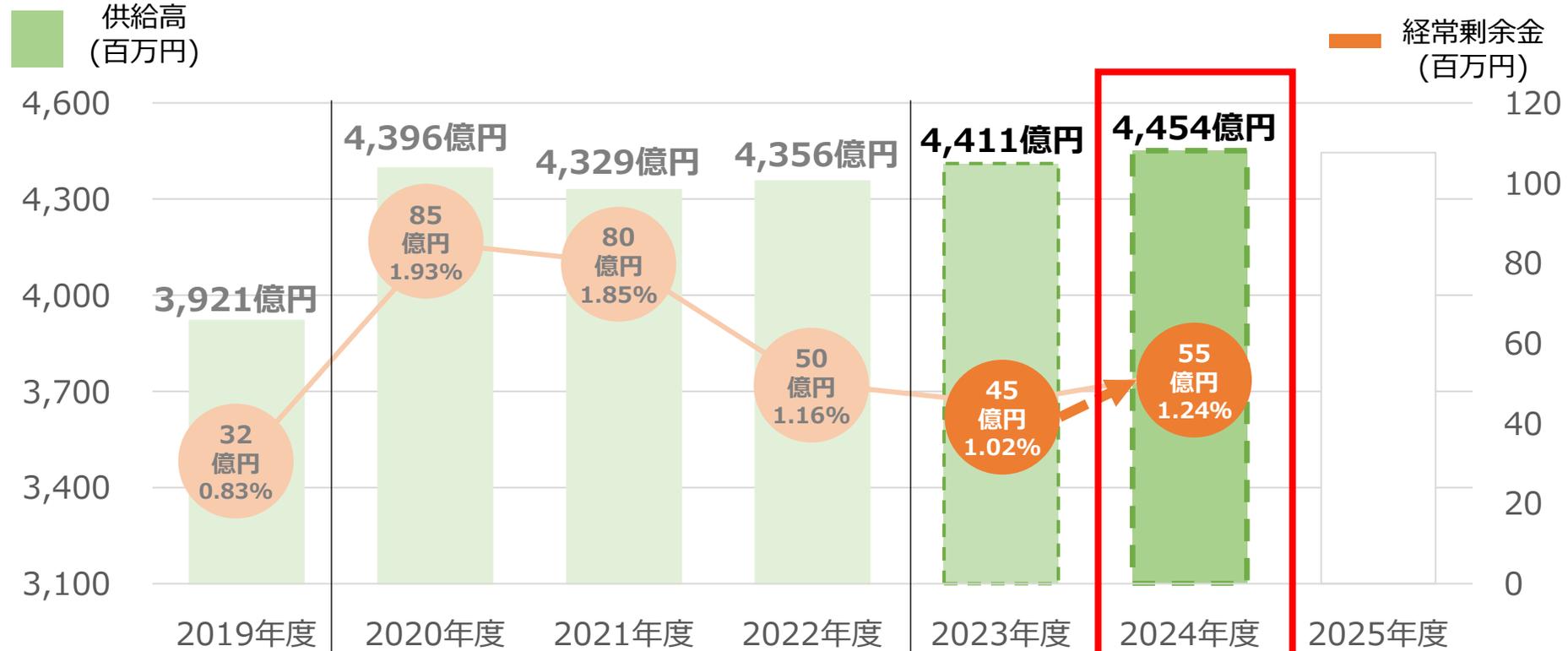
	2024年度推計	前年比
組合員数	3,080万人	100.6%
総事業高	3兆8,060億円	101.8%
供給高	3兆2,995億円	101.8%
世帯加入率	39.4%	+0.1pt

【地域生協】

		2024年度推計	前年比/差
供給高	総合	3兆705億円	101.6%
	店舗	9,701億円	102.5%
	宅配	2兆1,181億円	101.3%
経常剰余率 (%)	総合	1.83	-0.45
	店舗	-1.90	-0.50
	宅配	3.62	-0.30

※2024年度の数値は推計値です。確定値は9月になります。

※第75回通常総会議案書 参考資料より



2020ビジョン

2030ビジョン第1期中期方針

2030年ビジョン第2期中期方針

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	予算比	前年比
CO・OP商品	3,094	3,402	3,383	3,434	3,538	3,600	102.4%	101.7%
キャロット事業	333	404	369	350	331	326	93.7%	98.4%
カタログ事業	464	554	540	536	507	494	95.8%	97.4%
ギフト事業	29	35	36	34	33	32	94.7%	98.0%

「令和6年能登半島地震・奥能登豪雨災害支援募金」による奥能登豪
雨災害の義援金を石川県へ贈呈しました

～奥能登豪雨災害義援金**4.7億円**を石川県に贈呈～



全国の生協では、能登半島地震直後から募金活動に取り組み、奥能登豪雨災害後も継続。
日本生協連が全国の生協に呼びかけた募金は令和7年3月で228生協から**22億370万4,556円**
今回、奥能登豪雨災害の義援金として4億7,470万9,980円を石川県に贈呈。
全国の生協組合員の義援金は、これまでの能登半島地震分も合わせ**19億円**を超えました。

co-op 「2025年 わたしたちの平和宣言」を採択



被爆・戦後80年の今日的な状況を踏まえ、わたしたちが考える平和運動を生協らしく進め、平和な世界を築いていくことを多くの組合員とともに確認するため、「2025年 わたしたちの平和宣言」を、第75回日本生協連通常総会での特別アピールとして採択しました。



あたたかいご飯(はん)が食べられること、安心して眠(ねむ)れること、健康(けんこう)にすごせること、大好(す)きなものを「好き」と言えること、誰(だれ)かといっしょに笑(わら)いあえること。わたしたち生協(せいきょう)はこのようなくらしを大切にするために、人と人がつながり助けあえる社会をめざしてきました。

過去(かこ)の戦争(せんそう)では、国内外で多くの命(いのち)が失(うしな)われました。そして、日常(にちじょう)のくらしがなくなり、自分らしく生きられない人(ひと)たちもたくさんいました。平和(へい)こそ、日々(ひび)のくらしを支(ささ)える原点(げんてん)だということを、あらためて確認(かくにん)します。

世界(せかい)には今(いま)も戦争(せんそう)によって命(いのち)に危険(きけん)がせまり、安心してくらしえない人(ひと)々がたくさんいます。さらに核兵器(かくへいき)が使(つか)われるかもしれないという不安(ふあん)が広がっています。

戦争(せんそう)をなくすこと、二度(にど)と核兵器(かくへいき)が使(つか)われない世界(せかい)をつくること。これは、被爆者(ひばくしゃ)や戦争体験者(たいけんしゃ)のねがいでもあり、彼(かれ)らの悲(かな)しくつらい体験(たいけん)を聞き、学び(まな)びあいを積(つ)み重ね(かさね)てきたわたしたちのねがいでもあります。唯一(ゆいいつ)の戦争被爆国(せんそうひばくこく)で生きるわたしたちの責任(せきにん)として、彼(かれ)らの思い(おも)いを受け継(つ)ぎ、次(つぎ)の世代(せだい)にたしかに渡(わた)していきます。

わたしたちは、一人(ひとり)ひとりが考え(かんが)え、みんな(みんな)で話しあ(な)い、意見(いけん)の違(ちが)いを受け入(うけい)れ、たがいを尊重(そんちょう)しあ(な)える場(ば)づくりを大切(たいせ)にしていきます。そして、つな(つ)がること(こと)で、平和(へい)へのね(ね)がいを大(お)きな力(ちから)に変(か)え、戦争(せんそう)も核兵器(かくへいき)もな(な)い世界(せかい)を実現(じつげん)していきます。

2度目のIYCがスタート

国連は2012年に続き、2025年を国際協同組合年 (IYC: International Year of Cooperatives) とすることを決議。短期間で2度目を迎える国際年は異例。



国連事務総長よりビデオメッセージ
2025 国際協同組合年キックオフイベントにて



国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます

「国際協同組合年に当たり協同組合の振興を図る決議」が5月27日の衆議院本会議、5月28日の参議院本会議で採択されました。



7月第1土曜日（国際協同組合デー）に、「協同組合フェスティバル」を開催します。

協同組合やSDGsについて“見て、聞いて、体験”できる、いろんな協同組合のブース出展、JAファーマーズマーケットによる新鮮な農産物の販売、スペシャルゲストによるステージなどの企画が盛りだくさん！ぜひご取材ください。

